



テントでの生活は、大人にとっても子どもにとってもワクワクする楽しいものです。テント生活を快適に過ごすために、友達と協力してしっかりと立てましょう。また、使い終わったら楽しい思い出をくれたテントに感謝をしながらきれいにたたみましょう。

さあ、説明を良く読んで、注意事項を守り、力を合わせ楽しいテント生活を送りましょう。

[班分け] 4～5人

[時間] 設営（作る）約30分、撤収（たたむ）約30分

*参加者の年齢により前後します。

[持ち物] 軍手

！注意事項

- ・テントや道具はていねいに使おう。乱暴に使わないようにしよう。
- ・ポールを使う時はまわりの人にぶつからないように気をつけよう。
- ・ペグやポールの先はとがっているので気をつけよう。
- ・ハンマーで指を打たないように気をつけよう。
- ・道具をふざけて使わないようにしよう。
- ・となりとぶつからない場所、通り道のじゃまにならない場所に立てよう。
- ・テントのまわりでは走らないようにしよう。
- ・テントの中や近くでは、あばれない、さわがない、食べたり飲んだりしない、火を使わない、懐中電灯を必要以上につけない、靴のまま入らない。
- ・時々、空気を入れ換えるために窓や入口を開けよう。

せつえい た かた
 <設営・立て方>

①



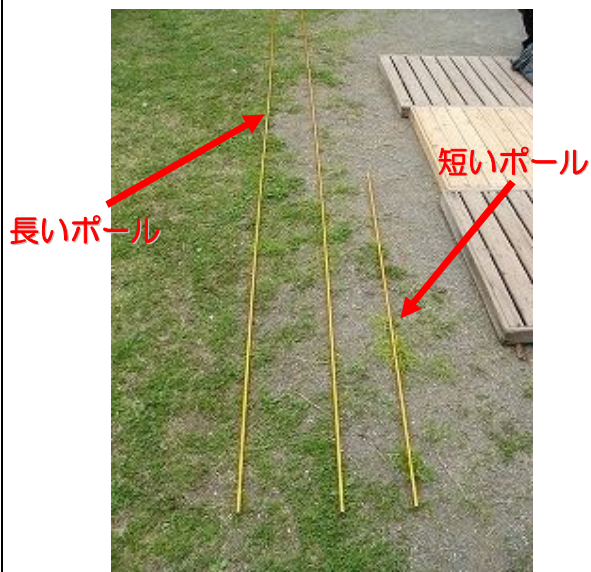
設営する位置を決め整地する。
 スノコを入口側に対して縦に3枚並べ、テント袋とバケツを置く。

②



バケツの中にハンマー2個・ペグ6本・布2本があるか確認する。袋からテントを出して、ポール3本・本体・フライシートがあるか確認する。袋はバケツの中に入れておく。

③



たんであったポールをつなぐ。
 長いポールが2本、短いポールが1本。

④



たんであった本体をスノコの上を広げる。
 チャックがついている方が出入り口になる。
 空気が入りやすいように入口のファスナーを少し開けておく。

⑤



長いポールを本体のポールスリーブ（黒いメッシュ）に通す。中心でポールが交差する。

⑥



本体4隅のうち片側だけ（入口からみて左右のどちらか一方）2箇所のピンを⑥で通したポールの先に差し込む。

⑦



本体4隅を1人ずつ持ち、ポールを上へ押し上げて曲げながら残り2箇所のピンをポールに差し込む。難しい時には手伝ってもらおう。

⑧



本体横に付いているフックをポールにひっかけかける。

⑨



本体の中に砂が入っている場合は、ホウキではき出す。

片側だけ入口のファスナーを全て開けてはき出すと作業しやすい。

⑩



本体の4隅に付いているループ（わっか）をひっぱり地面に印をつけ、そこにペグを3分の2の深さまでハンマーで打ち込む。***ペグを持つ手には軍手を着け、ハンマーをもつ手は外す。***
***ペグにループをかけたまま打たないこと！**

⑪



フライシートを裏返しにして広げる。

⑫



ファスナーの上にあるポケットに短いポールを差し込む。逆側も同様に差し込む。

⑬



短いポールを左右のポケットに差し込んだら、真ん中をマジックテープで留める。

⑭



フライシートに付けたポールの前後の向きが本体の入口の向きと同じになるようにフライシートを本体にかぶせる。

⑮



フライシートのはしについているS字フックを本体4隅のリングに引っ掛ける。

フライシートの内側についているマジックテープを長いポールに付ける。

⑯



フライシートの入口前後についているゴムコードを留められるようにペグを2箇所打つ。
ペグが自立するように布をペグに結ぶ。

⑰



本体の中にマットを2枚敷く。マット同士を紐で結び、結び目をマットの下に入れる。
マットの上に毛布を2枚敷く。

完成！

